

しんさっぽろだんち
新札幌団地

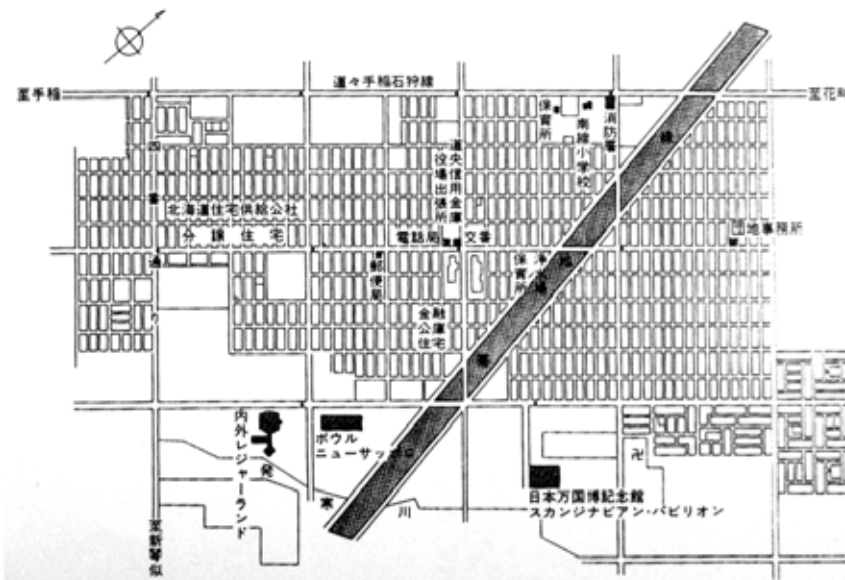
現在の石狩市花川南地区は、昭和40（1965）年から造成が開始された総面積100万坪におよぶ、当時道内最大の民間住宅団地で、「新札幌団地」と呼ばれていました（※1）。「新札幌団地」は開発会社である内外緑地株式会社が命名した名称ですが、同社は昭和41（1966）年に温泉が湧出したことで「新札幌温泉郷」と呼んだり、昭和46（1971）年に大阪万博のスカンジナビア館の移設工事を始めた頃から「ニューサッポロシティ」という名称を用いたりしました。ただし、通称としては「新札幌団地」と呼ばれ続けていました。その後、昭和51（1976）年に当時の石狩町（※2）が町の字名改正を施行し、そのエリアを花川南として以降、花川南地区と呼ばれるようになりました。また同年、ユーアンドアイ・マツザカ（※3）は事実上倒産してしまいます（※4）。昭和54（1979）年10月時点で団地内世帯数は3400戸を越え、人口も1万1000人ほどに達していました。

「新札幌団地」の宅地開発は、それまでの農漁業主体の石狩町から、札幌広域都市圏の大規模住宅団地機能を有する都市化への大きな転換点でした。昭和30年代半ばから札幌圏は急激に人口が増加し、受け皿として札幌周辺部のいわゆるベッドタウン開発が進みましたが、「新札幌団地」はその最も大規模な例でした。平成28（2016）年4月現在、花川南地区は人口2万3983人で、石狩市最大の人口集積エリアです。

（安田秀司）

- ※1. 現在の石狩市花川北地区は「^{ほんなぐろ}花畔団地」として北海道住宅供給公社が開発を進めましたが、花川北一条4丁目と5丁目のみ「新札幌団地」に含まれていました。
- ※2. 平成8（1996）年市制施行。
- ※3. 内外緑地株式会社より昭和49（1974）年商号変更。
- ※4. 会社更生法のもと、事業を継続し、昭和54（1979）年に更生計画の認可、昭和57（1982）年更生手続き終結。

- (1) 田中實編（2010）花川南地域（旧新札幌団地ほか）開発概説年表. いしかり暦, 23 : 53-63.
- (2) 田中實編（2010）北海道住宅供給公社「花畔団地」開発概説年表. いしかり暦, 23 : 64-75.
- (3) ユーアンドアイ・マツザカ パンフレット「ニュー・サッポロ・シティ」.



ユーアンドアイ・マツザカ
 「ニュー・サッポロ・シティ」より